



～ 体育大会に向けて ～

校長 小木曾敏樹

夏休みが終わり、冬休みまで長いなあ～と思っていたはずですが。しかし、もう既に1か月以上が経ち、冬休みまでは2か月半です。この1か月間がとっても早く感じたのは、体育大会に向けて日々努力し、日々それが成果として、形として、見えてきたからだと思います。

体育大会は、たった半日間。時間にして4時間弱。その短い時間のために、君たちは練習に励み、話し合いや準備を重ね、努力してきた。その短い時間の中に、君たちは何を生み出そうとしている。何を創ろうとしている。何を得ようとしている。何を求めようとしている。

勝利、優勝、それは当然のことだろう。それを目指して頑張るのだから。しかし、たいして頑張らなくても、もしかしたら、勝利や優勝はできるかもしれない。ほどほどの努力でも手に入れることができるかもしれない。それでうれしいかどうかは別として・・・。

君たちがつかむべきものは、勝ちや負けのその向こう側、勝敗を超えた先にあるものだと思います。これは、偶然では勝ち取ることはできない。努力した者にしかつかむことができないものだ。さらに、努力だけではつかめないかもしれない。熱い思いをもって取り組まなければ得ることはできない。

では、その熱い思いはどうやったら生まれるのか。勝ちたいと強く思えば生まれてくるのか。そんな単純なものではないだろう。

体育大会では、優勝旗を、大縄優勝トロフィーを、事前取組優勝トロフィーを、それぞれ手渡します。優勝旗もトロフィーもないけれど、最も価値のあるものを手に入れた全ての人に、私は最高優勝をあげたいと思う。簡単には手に入れられないからこそ、そこに価値がある。

全力のその先に何があるのか。勝ち負けを超えた向こうに何があるのか。見に行ってい。そして、できることなら、つかみ取ってい。

「やさしさをためらうな」

「頑張ることをためらうな」

「涙することをためらうな」

ためらうことなく、君が君らしく、ありのままの思いを表現すれば、きっと向こう側に近づくことができる。



「苗木秋祭り」ステージに苗木中 DANCE !!

土曜日には、瀬戸の里のお祭りで2年生が合唱を披露する予定でしたが、中止になってしまいました。無理して予定を空けてくれた生徒もいたようです。ありがとう。

そして、5日の日曜日には、「苗木秋祭り」。1年生だけでは人数が足らず、2年生からヘルプ参加をしてもらって、秋祭りのステージに参加しました。去年は1年生の苗木中ソーランでしたが、今年はやっぱり「DANCE!!」。これまで踊ってきた曲の中から、「ロマンチズム」を披露し、地域の皆さんに楽しんでいただきました。本当はもう一曲と思っていたのですが、忙しすぎる毎日で、練習もできないので一曲にしたそうです。

苗木中のDANCEは、他校の生徒も知っていて、市内の中学校では有名です。自分たちの学校でも始めようという動きもあるようです。苗木中ホームページを見たりしてくれています。

今年、「あんどん祭」で地域の皆さんに披露し、今回「秋祭り」でも見ていただき、苗木地区の皆さんの間でも、「苗木中DANCE」が広まっていったのではないのでしょうか。

中津川の南小学校区の文化祭に出演してもらえないかという依頼を受けて、皆さんに出演可能かと調査をしましたが、クラブの大会があったりして、人数が集まらずにお断りをしました。出演できなかったことは残念ですが、全然関係のない他の地区から出演依頼が来ることについては、誇りに思いたい、誇りに思っています。

ステージに上がり、ダンスを始める前の挨拶の中で、「私たちが求めているダンスは、みんなで楽しめるダンス。自己表現なんだ。」と紹介がありました。その言葉のとおり、楽しい、素敵な笑顔や表情で、踊ることができていました。特に3年生で唯一参加してくれたTさんは、ステージの中央で思いっきり自己表現していました。Tさんを中心に、1・2年生が囲むようにラストの決めポーズ。会場の笑いを誘いながらも、苗木中の一体感というかまとまり、仲の良さ、学校の雰囲気……。いろいろなものを苗木地区の皆さんに伝えることができた瞬間だったと思います。後ろでしれーっと一緒に踊っていたH先生もとても楽しそうでした。

